

応募申込日：令和 年 月 日

第6回 JAPANコンストラクション国際賞

応募申込書

建設プロジェクト部門

I 応募者概要

1. 会社名	
2. 所在地	〒
3. 連絡先	ご担当者名： 部 署： 電 話 番 号： E-mail：

II プロジェクトの概要

1. プロジェクト 名称（和文名 及び英文名）	
2. 所在国・都市	<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> 国 都市 </div>
3. プロジェクト 関係者	<p>発注者： ※ODAの場合は、その旨と合わせ有償・無償も記載</p> <p>設計者：</p> <p>施工者：</p> <p>（上記の分類に合致しない場合は、以下の空欄を使用して下さい。）</p> <p> </p> <p> </p>
4. 工期	<p>着工： 年 月</p> <p>完工： 年 月</p>
5. 総事業費	
6. 応募企業担当 部分	
7. 担当部分以外 の部分の関連 企業	<p>（当該部分について応募資料に含める場合のみ記入して下さい。了解を得た企業の企業名及び担当部署名を記入して下さい。その他主要関連企業については3に記入して下さい。）</p>
8. プロジェクト の諸元	<p>① プロジェクトの概要 ※定性・定量両要素でご記載ください。</p> <p>② プロジェクトで用いたアイデアや技術・工法等 ※本プロジェクトでPRしたいアイデア、技術、工法等につきましては、その具体的な内容と効果、また採用にいたった理由等の説明を簡潔にご記載ください。</p>

Ⅲ プロジェクトの特徴

1. 質の高いインフラ投資に関するG20原則の原則1～5に沿った「質の高いインフラ」を実現したか。

(参考) 質の高いインフラ投資に関するG20原則 (仮訳)

https://www.mof.go.jp/international_policy/convention/g20/annex2.pdf

- 応募プロジェクトが以下に該当する事柄について記載して下さい (各項目について500字以内)。また、各項目について日本企業がどのように貢献したかについても記述して下さい。該当がない場合は、「該当なし」と記入して下さい (評価項目となりますので、できる限り全ての項目について記載をお願いします)。また、可能な限り仕様書の概要や報道記事、発注者からの評価等、客観的な資料を添付して下さい。
- 事業実施国法令への準拠、発注者・資金拠出者の指示・要望に基づく措置、我が国企業では一般的な慣行の採用等であっても、G20原則に該当する事項があれば記入して下さい。

① 持続可能な成長や開発の達成のための、インフラによる正のインパクトの最大化 (原則1)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 経済活動の好循環の実現 (雇用面、技術移転、投資・貿易・経済発展の促進)・ 持続可能な開発や連結性の促進 (持続可能な開発に貢献するインフラ、広汎なアクセス・利用が可能となる包摂的なインフラ、国家的・地域的・グローバルなインフラの連結性の向上、個別の国々の条件に適合、地元の法規制と整合的) |
|--|

② ライフサイクルコストを考慮した経済性向上（原則 2）

- ・ ライフサイクルでのコストとベネフィットの考慮
- ・ 事業遅延・コストオーバーラン・供用開始後のリスクに係る戦略

③ インフラ投資への環境配慮の統合（原則 3）

- ・ ライフサイクル全般での環境配慮
- ・ 環境への影響に関する透明性の確保

④ 自然災害及びその他のリスクに対する強靱性の構築（原則4）

- ・ 堅実な災害リスク管理に配慮

⑤ インフラ投資への社会配慮の統合（原則5）

- ・ 社会において差別を生じさせない方法でのインフラ・サービスへの開放的なアクセスの実現（コミュニティとの協議等）
- ・ ライフサイクルでの包摂性の実践（様々な関係者の人権・ニーズの尊重）
- ・ 女性を含む全ての労働者への機会提供（雇用へのアクセス、技能向上、安全・健康的な条件下での労働、公平な報償）
- ・ 建設現場・周辺コミュニティの双方で安全面・健康面の条件整備

2. 我が国企業の優れた技術・ノウハウ等の強みを活用し、海外におけるプレゼンス向上に寄与したか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（500字以内）。

また、可能な限り現地での報道や使用した技術・ノウハウに係る概要等、客観的な資料を添付して下さい。

- ①・現地コミュニティに「日本のプロジェクト」として認知されているか。
・現地社会から高く評価されているか。

（例：現地報道や国際的媒体において日本のプロジェクトとして好意的に取り上げられた、工事中や完工後の国旗の掲揚・掲示や案内板の設置等日本のプロジェクトであることを認知される取組を行った、現地報道でプロジェクトによる裨益（交通渋滞の解消など現地社会への裨益やそれに対する住民の評価等）が報じられた等）

②・日本企業が優位性を持つ技術やノウハウ、人材育成などの強みが、プロジェクトの受注・実施にあたって重要な要素となったか。

- ・当該技術・ノウハウが関係者に評価されているか。（※受注にあたって発注者から高く評価された場合はその旨も記載。）

（例：〇〇技術（〇〇での経験）が競合国企業との差別化につながり受注の決め手となった、人材育成が発注者（現地政府）から高く評価された等）

3. 若年世代の興味・関心を高めるとともに、国際人材の育成に寄与したか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（500字以内）。

また、可能な限り広報資料や採用活動用資料に活用した例等、客観的な資料を添付して下さい。

① 日本社会における海外建設プロジェクトへの関心を高めたか。また、日本の若手人材の建設・不動産業に対するイメージアップにつながる取り組みがあったか。

② 応募者及び関連会社における国際人材育成に資する取り組みがあったか。また、その人材がその後も応募者及び関連会社の海外事業や関連部署で活躍しているか。

4. 戦略性をもって取り組んだか。

○以下の点について、詳細な事柄を記載して下さい（500字以内）。

・マスタープラン等の上流段階からの関与、当該国への戦略的な長期進出による案件の獲得等、長期的・戦略性のある受注や事業の実施であったか。

5. その他PRしたい事項を120字以内でご記入ください。(あれば結構です)

--

IV 事故等調査

貴社の応募プロジェクトにおいて、工事中における死亡事故等発生の有無についてご回答ください。下記【 】に○印をつけてください。またその他重大な事故等についてもご報告ください。

※日本人スタッフ、現地スタッフ、自社社員、協力会社スタッフ、工事関係者、工事関係者以外の方(公衆災害)、工事敷地内外を問わず、当該プロジェクトに起因した事故は全て対象とします。

1. 死亡事故発生の有無

【 】死亡事故は発生していない。

【 】死亡事故が発生した。

※事故内容及び事故処理の詳細を記入してください。(極力、詳細に記載してください。)

--

2. その他重大な事故等発生の有無

【 】発生していない。

【 】発生した。

※事故内容及び事故処理の詳細を記入してください。(極力、詳細に記載してください。)

--

添付資料

1. プロジェクトの写真を5枚まで、写真についての説明を2～3行で記述して下さい。
2. 上記「Ⅱ プロジェクトの概要」を説明するために必要な図面等がありましたら、添付して下さい。
3. 上記「Ⅲ プロジェクトの特徴」の各項目について、技術的な事項も含め、記述内容を裏付ける客観的かつ簡潔な資料を添付して下さい。